



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 日本ピストンリング株式会社
 コード番号 6461 URL <http://www.npr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 越場 裕人
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 048-856-5011

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,507	7.1	1,509	2.5	1,682	33.5	1,155	20.3
29年3月期第2四半期	25,694	2.3	1,473	1.5	1,260	12.9	961	7.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 634百万円 (%) 29年3月期第2四半期 1,834百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	140.50	140.05
29年3月期第2四半期	116.87	116.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	67,723	30,999	44.9	3,693.01
29年3月期	67,135	30,883	45.2	3,688.21

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 30,374百万円 29年3月期 30,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		65.00	65.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	0.7	3,300	1.9	3,100	6.9	2,100	13.0	255.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,374,157 株	29年3月期	8,374,157 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	149,257 株	29年3月期	149,074 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,225,021 株	29年3月期2Q	8,223,043 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における政策の不確実性等の高まりによる先行き不透明感があるものの、中国及び欧米を中心に総じて緩やかな回復基調となりました。また我が国経済におきましても、雇用・所得環境の改善が持続し、緩やかな回復が続きました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、グローバルな生産台数は増加基調にあり、需要が底堅く売上高は275億7百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

損益面におきましては、原材料の高騰影響等があったものの増産効果等により、営業利益は15億9百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。また、為替差益の発生により、経常利益は16億82百万円（前年同四半期比33.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億55百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントの業績をより適切に評価するために、セグメントの測定方法を一部変更しております。また、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントも変更後の測定方法に基づき作成しております。詳細は10ページ（セグメント情報等）に記載のとおりであります。

① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、グローバルな生産台数が増加基調にあり、売上高は238億18百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、セグメント利益は17億62百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

② 船用・その他の製品事業

船用・その他の製品事業は、産業機械用製品等の需要拡大により、売上高は10億54百万円（前年同四半期比9.9%増）となり、セグメント損失は1億20百万円（前年同四半期はセグメント損失2億4百万円）となりました。

③ その他

商品等の販売事業を含むその他製品事業における売上高は、26億33百万円（前年同四半期比11.8%増）となり、セグメント利益は1億69百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、5億87百万円増加し、677億23百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」の増加16億46百万円、「退職給付に係る資産」の増加1億55百万円に対し、「有形固定資産」の減少6億83百万円、流動資産「その他」の減少2億74百万円、「投資有価証券」の減少2億63百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ、4億70百万円増加し、367億23百万円となりました。これは主に、「有利子負債」の増加11億43百万円、「電子記録債務」の増加1億20百万円に対し、流動負債「その他」の減少4億57百万円、「営業外電子記録債務」の減少3億66百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ、1億16百万円増加し、309億99百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」の増加6億21百万円、「非支配株主持分」の増加60百万円に対し、「為替換算調整勘定」の減少4億34百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少1億84百万円があったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、45億43百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億46百万円の収入（前年同四半期は19億51百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億82百万円となり、減価償却費が20億81百万円あったものの、売上債権が16億20百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億1百万円の支出（前年同四半期は21億45百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26億27百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億73百万円の収入（前年同四半期は3億42百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと、長期借入金を16億88百万円返済したこと、配当金を5億33百万円支払ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,634	4,543
受取手形及び売掛金	10,318	11,965
たな卸資産	8,853	8,809
繰延税金資産	694	665
その他	1,373	1,099
貸倒引当金	△49	△55
流動資産合計	25,824	27,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,540	9,347
機械装置及び運搬具（純額）	15,024	14,716
土地	5,219	5,203
建設仮勘定	960	796
その他（純額）	955	953
有形固定資産合計	31,700	31,017
無形固定資産合計	791	811
投資その他の資産		
投資有価証券	7,558	7,294
退職給付に係る資産	674	829
繰延税金資産	338	499
その他	292	285
貸倒引当金	△45	△43
投資その他の資産合計	8,819	8,866
固定資産合計	41,310	40,695
資産合計	67,135	67,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,312	3,226
電子記録債務	3,921	4,042
短期借入金	4,977	7,668
1年内返済予定の長期借入金	3,056	2,769
リース債務	113	105
未払法人税等	345	339
設備関係支払手形	353	337
営業外電子記録債務	2,183	1,817
その他	4,354	3,897
流動負債合計	22,619	24,203
固定負債		
長期借入金	8,458	7,216
リース債務	343	332
繰延税金負債	683	716
退職給付に係る負債	4,018	4,128
その他	129	125
固定負債合計	13,633	12,519
負債合計	36,252	36,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	11,781	12,402
自己株式	△328	△328
株主資本合計	27,168	27,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,425	3,240
為替換算調整勘定	609	174
退職給付に係る調整累計額	△866	△829
その他の包括利益累計額合計	3,167	2,585
新株予約権	56	74
非支配株主持分	490	550
純資産合計	30,883	30,999
負債純資産合計	67,135	67,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	25,694	27,507
売上原価	19,677	21,162
売上総利益	6,017	6,344
販売費及び一般管理費	4,544	4,834
営業利益	1,473	1,509
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	104	110
為替差益	—	72
その他	84	143
営業外収益合計	193	333
営業外費用		
支払利息	112	90
為替差損	237	—
その他	57	69
営業外費用合計	406	160
経常利益	1,260	1,682
税金等調整前四半期純利益	1,260	1,682
法人税、住民税及び事業税	418	496
法人税等調整額	△145	△36
法人税等合計	272	460
四半期純利益	987	1,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	961	1,155

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	987	1,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	△184
繰延ヘッジ損益	6	—
為替換算調整勘定	△2,799	△441
退職給付に係る調整額	30	37
その他の包括利益合計	△2,821	△588
四半期包括利益	△1,834	634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,792	589
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,260	1,682
減価償却費	2,145	2,081
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	130
受取利息及び受取配当金	△108	△117
支払利息	112	90
為替差損益(△は益)	237	△72
売上債権の増減額(△は増加)	△2,341	△1,620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120	71
仕入債務の増減額(△は減少)	159	△25
その他	805	247
小計	2,205	2,471
利息及び配当金の受取額	108	117
利息の支払額	△120	△90
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△242	△352
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,951	2,146
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,040	△2,627
無形固定資産の取得による支出	△108	△66
その他	3	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△2,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,630	2,600
長期借入れによる収入	—	163
長期借入金の返済による支出	△1,377	△1,688
配当金の支払額	△488	△533
非支配株主への配当金の支払額	△11	—
その他	△410	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	342	473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△586	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△437	△90
現金及び現金同等物の期首残高	4,112	4,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,675	4,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	舶用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,378	959	23,338	2,356	25,694	—	25,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,378	959	23,338	2,356	25,694	—	25,694
セグメント利益又は 損失(△)	1,743	△204	1,538	148	1,687	△214	1,473

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△214百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等があります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,818	1,054	24,873	2,633	27,507	—	27,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,818	1,054	24,873	2,633	27,507	—	27,507
セグメント利益又は 損失(△)	1,762	△120	1,642	169	1,811	△301	1,509

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△301百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等があります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの測定方法の一部変更)

非自動車エンジン部品の事業化に向けた研究開発費等につきましては、従来、各報告セグメントに配賦しておりましたが、各セグメントの業績をより適切に評価するために経営管理手法を見直し、第1四半期連結会計期間より、セグメント利益又は損失(△)に調整額として計上する方法に変更いたしました。

この変更により、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)に当該研究開発費等△301百万円を調整額として計上しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の測定方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。